京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行金一圓五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

雜報

朝鮮守備軍の增加

陸軍の勢力增加說に就ては世論の思惑如何を氣遣ふもの〻如く當局者も幾度か擴張の計畫を立てしも容易に其遂行を爲さず殊に戰役後滿韓地方に駐屯せしめし四個師團も之が半減するの已むを得ざるに至りたれば將來當局者に於ても是が擴張に就ては

▲種々の苦心 を重ね彼の臺灣守備軍の如く最初は內地の各師團より交代分遣して別に定員の增加を行ふことなかりしも何時の間にか內地に於ては之が補充を行ひ守備軍だけは餘分のものとなしたれば現在我陸軍の不時定員は表面十九個師團なりといふも實際は臺灣守備の三個旅團と外に滿州守備隊の六個大隊即ち一個旅團の軍隊を有するを以て目下は實に二十一個師團の兵力を有する譯なるが此程當局者の計畫せる

▲朝鮮守備軍 の增加が名を避けて實を收めんとする方針にて即ち別に師團の名稱を行せ朝鮮守備軍なるものを置き是には從前の如く內地師團より交代派遣することを廢し其所要の人員は今日の臺灣守備隊の如く內地に於て別に召募し派遣せんとするの計畫にて寺內總督の歸京したると共に近々

▲廟議を經め 其遂行を期する筈なりといへるが素より現在の朝鮮守備軍を倍加して是を二個師團位のものとなすことは敢て異議なかるべきも之を內地より派遣せずして別に召募することは一種の擴張にして當局の苦心察せざるに非ざれども充分當局の所見を叩きし上ならでは同意し難く何れ議會の一問題たるに至るべしと某代議士は語れり

朝鮮と神道布教

（萩野博士の談）

現に朝鮮內地に布敎に熱中しつ〻ある神道二三敎派が近頃に至りて各派合同し一致の步調の下に大に布敎の實を擧げんとする內議ある由なるが內務省神社局考證課萩野博士は朝鮮に於ける神社の狀況に就き語りて曰く朝鮮は數回の革命を經たる國柄とて內地の如き歷史的神社あるを聞かず又將來如何なる神社を建立せんとするかは拓殖局或は總督府に於て詮議あり祭典儀式等の件に關し諮問を受くるに過ぎざれば當所に於ては素より何種の神靈を奉祀して可なるやは論議すべき權能を有せざれども想ふに研究の結果愈々同地に神社を建立せんとするに至れば從來歷史的神社あり新神社に對抗すべきものなければ比較的容易に其目的を達するを得べし但し他の諸問題とは大に其趣を異にし事祀の上は之を信奉せしめざるまでも輕侮せしむ可からざる要あれば或は歷史上より或は人情風俗上より精細なる調査を遂ぐる必要あり云々

朝鮮の度量衡

從來一般に使用せる度量衡器の多くは各自任意の製作に係り多種多樣なるのみならず其名稱命位も亦區々に涉り殆ど度量衡器たるの價値なく取引上相互の不便尠からざるを以て明治三十五年始めて度量衡器を發布し次で三十八年之を改正したれども猶不備にして事實施行すること能はず更に四十二年九月之を改正し內地人及朝鮮人共に該法に據らしむることゝなり同年十一月より漢城府外八府四十六郡に本年一月より一府六十三郡に同七月一日より九十三郡に施行したりしに漸次度量衡の名稱命位及度衡器の統一と正確を保つを得るに至り一層取引上の便益を感じ各邑進んで新度量衡器を使用するの機運に向ひたれば漸次一般に施行し全國に之を普及する遠きに非るべし

沿岸航標路識

朝鮮沿岸に於ける通商貿易の發達に伴ひ船舶の通航漸く多きを加ふるを以て該航路の安全を計る爲め沿岸樞要の地に航路標識の必要を認め數年來著々之が建設を見るに至れり然れども多額の經費を仰がざる能はざると着手日尚ほ淺せに依り未だ完全に達するを得ず由來航海の發達は海陸交通機關の連絡に在り今や縱貫鐵道は西端に於て釜山、新義州其支線に於て馬山、仁川、鎭二浦等の連絡港を有するに至り船舶の航行益般盛に向ひつ〻あり而も其延長六千海里の沿岸に至つては無數の島嶼岬角暗礁起し潮流急激にして海霧多く船舶の遭難するもの頻々相踵ぎ更に周密なる標識の建設を促し又一面に於ては河川に據りて物質の輸出入を企つる者日に其數を增すを以て河川江灣にも亦其の必要ある等益航路標識事業擴張の不得止に至り本年度を以て完成すべき第一期計畫に次て明年度以降更に第二期計畫に移り沿岸航海の安全を期する筈也

京城局の事業統計（二）（其二）

小包郵便物

年度別	引受數	配達數
卅三年度	六〇六	二、三三四
卅四年度	八一六	三、四六一
卅五年度	一、三五三	五、〇八三
卅六年度	二、四二七	九、七九九
卅七年度	七、一六六	三、五九六
卅八年度	三、一五一	三〇、七九一
卅九年度	二五、六〇一	四五、五一〇
四十年度	三三、一六二	六七、一六〇
四十一年度	四一、六九七	七八、二九九
四十二年度	四九、八〇〇	八〇、二三八

備考

一、小包郵便數は通常郵便と同じく三十七八年以降急激の增加を示せる外畧漸進的に增加せり

一、四十二年度引受數の減退は附近明治町永樂町太平町に郵便所を新設したるに影響す

●日鮮漁民の紛擾

東萊郡多太浦は常に日鮮人の折り合ひ惡しく爲めに種々の軋轢を生ずることも屢々ありしが昨日は又日本漁夫の鰮地曳網漁場に朝鮮人の焚寄せ漁業者侵入し來りしとかにて遂に紛擾を釀し其結果當水產組合本部に仲裁の議願出でに及び當局者は充分利害關係を說き訓戒を與へたるが入江理事は右說諭方の爲め該地に出張の筈なり因みに頃者此種の紛擾起るゆることなき有樣なるが之れ實に朝鮮漁民の曚昧なる所以にして水產組合にても之れが取締仲裁和解に就ては頗る苦心し居ると

●朝鮮の支金庫增設

從來朝鮮に於ける國庫金の取扱に關しては京城の本金庫及び新義州、平壤、仁川、釜山、馬山、大邱、元山、咸興、城津、羅南等地方十ヶ所の支金庫に於て出納をなし來りしが併合後は內地人の移住し來りて夫々地方に散居し產業の啓發に從事せんとする者日に多く且つ官制改正の結果は支金庫の設備不足を告ぐるにぞ此程來新に商津、鏡城、義州、鎭南浦、海州、春川、商州、公州、群山、全州、光州、木浦、晉州等十三ヶ所に增設する事となりたり

●流木拾集と保管人

夢金浦沿岸に以十一月より十二月迄の間に於て鴨綠江上流より流木の漂着多く之が爲めに新義州營林廠に於ては各處に流失木拾集保管人なるものを設け之が收集を爲さしめ居りしが該保管人は狡猾にも自から拾集するなく沿岸各地方人民の拾集せしものを無報酬にて強奪し而かも之を營林廠に屆出でず潛かに賣却して利慾を逞ふするものあり斯の如きは當初保管人を設けたる主趣を沒却し徒らに弊害を釀生せしむるのみ而して現在に於ては警察機關も充分行屆ける事なれば是等は近く廢止さるべしと云ふ

●全道僧侶大會開催

從來朝鮮の僧侶は穢多同樣人間の階級外に置かれ甚だしきは京城に入ることまでも禁ぜられたることあるも內地の僧侶及び外國宣敎師が布敎の自由を有するなりたれば平等の保護を受くる以上は朝鮮僧侶なりとて日本人と同じく保護を受くべしとて各地にある寺院の重なる僧侶は來る二十七日北部磚洞の覺皇寺に大集會を開き布敎上に關して協議する由なり

講談 越後傳吉

旭堂南陵講演 第百四回

此方はれ神さん、サッと一風呂浴びて 柳「何とも有難う存じます、お蔭で好い心持になりました 女「オヤ、お歸りなさいまし 柳「誰も來やせんでしたか 女「へイ、何誰もれ見えになりませんでしたよ 柳「何うも有難う存じました、大きに安心致しました」カラ〳〵〳〵、カランラン〳〵 柳「オヤッ、これは變だ、妾が締めて置たのに表戶の樣子が違つてるよ……れ隣りのれ內儀さん、アノ誰も來ませんでしたろかね 女「イエ、誰れも見えませんよ 柳「オヤマアさうでございますか……何うしたんだらうね」ひたよいと開けて中へ入つて見ると、板の間には砂が附いてゐる 柳「オヤッ、こりやマア泥棒が入つたに違ひないよ、マア〳〵飛んでもないことになつちやッたね、泥棒が入つたんだ、こりやマア良人がどんなに怒るか分りやアしないが、飛んだことが出來たなア……」と胸を痛めながら其點は女のこと、簞笥の抽斗から何だ彼だと調べて見たが妙なことには何も奪れてゐない 柳「マア〳〵宜かつたこと、物でも奪られてゐやうものなら良人はどんなに怒るか知れやアしない、本當にマア吃驚した……」といふてゐるとガラ〳〵ッと戶が開て 源「今歸たよ 柳「れ歸り 源「何うしたんだね、何をドサクサしてるんだ簞笥の抽斗なんか開けて…… 柳「お前さん怒るか知らないけど、怒つちやア可けないよ 源「怒つちやア可けないッて何だ、怒るやうなことをしたんか 柳「實はね……、妾だッて遲くなるのは嫌だから隣に賴んでいてれ湯に行つた 源「ホーラ、いはねゑこッちやアない、そんなことをするだらうと思て居た、泥棒でも入つたのか 柳「サア、今歸つて來ると入つてあるんだ 源「オヤ〳〵、だから乃公がくれ〳〵もいつて置たぢやアねへか間拔奴ッ、何を奪られたんだ 柳「調べて見たんだがそれが幸なんだよ、何も奪られたものはない、御覽なこの通り足跡までついてるんだけど何も奪られてないよ 源「何を巫山戯やアがるんだ泥棒め、泥棒が態々家へ入つて何も奪らねゑで出るものかッ、奪るものがなかつたなら、何でも提げて歸るさ 柳「だから妾が調べたんだがないんだよ、何もありやアしない 源「そんなことがあるもんか、調べて見ろ」と源も女房と一所に其邊を調べて見たが何もない 源「ホンに何もねゑナ……エーッ外に金子の入つてる處はないかナ……オッさう〳〵、其所の硯箱にあつた 柳「ろんな所には滅多に賊だつて氣の注く氣遣ひはないよ 源「併し念のためだ……アッ……ヤイッ 柳「ハア 源「奪られた、見ろイッ、此所ンとこに十六兩三分の金を放り込んどいたが、ないぢやアねヱか 柳「アラ……そんな所まで氣が注いたんかね 源「氣が注いたんかぢやアねヱや此ン畜生ッ、何といふことをしやアがんだい、十六兩三分の金子を集めやうと思ひやア色の位ゐ腦廻らなけりやならんか分りやしねヱ、始終泥棒の方じや乃公ンとこに眼を着けてるんぢやねヱか、いふことを聽かねヱでこの間拔奴ッ 柳「そんな硯箱の抽斗の金子を奪られるとは思ひやアしない 源「思ひやアしないも、糞もあるかッ 柳「勝手を知つた泥棒だね、こりやア…… 源「斯んな抽斗には氣の注くものぢやアない、それをば持つて行く奴がから樣子を知つた奴だ、庄兵衞さんは何うした 柳「庄兵衞さんは妾の出で行く前に歸つたがね、お前さんに梅公の木更津に行くッてことをいふのを忘れてゐた、何うせ家の先生はそんな樣だつたら今晚遲くなつても催促に出でになるだらうから、すりや道具箱の一ッでも取て歸られるだらうから私もれ供をしなければならぬゆゑ直き歸つて來ッていつてたよ 源「さうか汝何かゑ庄兵衞さんの後から出たんだね 柳「直ぐ後から出たんだよ 源「フーン ガラ〳〵ッ 庄「ヘイ旦那、大きに遲うなりました 源「オウ庄兵衞さん 庄「れ神さん、大變遲うなりました



東京電報

▲文武官の叙位式　本日宮中に於て文武官華族三百九十八名に對し叙位式を行はせらる（廿二日）

▲聖上の御發輦期　今秋岡山地方に擧行さるゝ陸軍特別大演習統監の爲め　大元帥陛下には來月十二日帝都御發輦の御豫定なりと拜承す（同上）

▲漁業會社の成立　此程成立の朝鮮海漁業會社は來月中旬株式拂込を爲し直ちに事業に着手する筈なり（同上）

▲英蘭銀行の利上　同行にては本日の重役會議に於て現在の公定利引歩合を五厘方引下げ五分となしたり（同上）

▲銀塊と爲換相場　銀塊相場は倫敦に於て十六分の五騰貴し二十六片十六分の三を示し紐育にては四分ノ一騰貴して五十六仙四分の三を示せり隨て對滬爲替は二十八兩八分の三なりと（同上）

▲觀兵式と指揮官　天長節觀兵式諸兵指揮官は陸軍大將西寛二郎氏同參謀長には少將宇都宮太郎氏以下夫々任命せられたり（同上）

▲露國大使の消息　目下賜暇にて浦鹽滯在中の露大使マレウキッチ氏は同地にて交通大臣と會見後も引續き同地にありて沿海洲の施設に對し詳細なる調査をなし露都には赴かずして來月上旬歸任すべしと（同上）

▲朝鮮貴族の招待　天長節の外務大臣夜會には在京の朝鮮貴族を悉く招待す（同上）

▲小松原文相訓示　小松原文相は東京、廣島、奈良の各高等師範學校長を召集して教育方針に就き詳細なる訓示をなせり（同上）

▲米國大使の代理　過般賜暇歸國したる米國大使オブライエン氏不在中は同大使館參事官マスラー氏代理大使を務むる旨我政府に向け通告し來れり（同上）

▲中旬の輸出超過　先旬貿易は四百六十二万二千圓の輸出超過を示せり（同上）

▲日光地方の初雪　日光地方俄かに寒氣加はり初雪降りたり（同上）

伯林電報

▲獨帝の自國訪問　獨逸皇帝皇后兩陛下は本月二十五日より答禮の爲め三日間の豫定を以て白耳義皇室を訪問すべし（廿二日）

東京電報

▲載洵殿下の出迎　載洵殿下は愈々明二十三日午前九時横濱御入港に付き瓜生横須賀鎭守府司令長官は小泉豫備艦隊司令官をして今二十二日午後筑波、高千穗の二艦を引率せしめ御召艦出迎の爲め館山沖に差遣したり（同上）

▲明年度豫算確定　明治四十四年度豫算は昨日の閣議にて大体確定せり總額五億三千万圓にして新要求の主なるものは海軍製艦所の擴張及び朝鮮の新經營等なり（同上）

▲鐵道建設の方針　朝鮮鐵道が總督府の所管に移りたる後の建設方針を聞くに建設改良工事費は前帝國議會に於て決定したる繼續費を以て[illegible]する能はずと雖も京元線は特種の事情あるを以て幹線と同樣に敷設するも湖南線は輕便式を採用することになりたるを以て其建設費も一哩八萬圓乃至十二三萬圓の程度に[illegible]

▲大阪期米電報▼

▲前場（廿二日）十月限止十四圓八十二錢▲十一月限止不申▲十二月限止十五圓八錢▲後場（二十二日）十月限寄十四圓七十錢▲十一月限寄十四圓[illegible]

▲仁川米豆取引所▼

▲後場（廿二日）十二月一節八圓九十二錢三錢二錢一錢▲二節九圓八錢九錢八錢七錢六錢五錢三錢四錢三錢▲三錢二錢三錢一錢二錢▲出來高五千二百五十石

●天氣豫報（自廿二日午後六時至廿三日午後六時）北西風晴[illegible]

篤農團歡迎盛況

▲篤農團歡迎會　當地日鮮人有志の發起に係る東洋拓殖會社招致内地よりの篤志農事視察團歡迎會は廿一日午後六時を以て京城ホテルに於て開催さる、定刻に及ぶや軍樂隊の吹奏と共に食堂は開かれ主客打連れて立食を共にす、宴酣にして古城民長は發起人を代表し左の歡迎の辭を述ぶ。

篤志農事視察團諸君自分は今夕發起人を代表して諸君に歡迎の辭を呈するの光榮を有します、諸君、御承知の通り半島が今度帝國に併合せられたるは歷史上深き因縁のあることでありまず、而るに併合せられたる半島は内地に比し萬事後れて居ります、此後れたる帝國の新領土を開發するのは吾人の責任であります、諸君、諸君は資産名望識見に於いて各府縣否な本土全体を代表さるゝ方であります、從來の觀光者は半島に來つて皮相の觀察をなし從つて内地へ向つて皮相的の紹介をして居ります、就ては願はくは諸君に於ては表裏善悪凡てを良く御視察以下御自身半島に交渉を開かるゝは勿論内地の各方面の人々に向つて半島の眞相を知らしめられんことを切望致します、私の代表する民團は古きものであります此民團の先祖とも云ふべき古參の移住民は帝國國旗の飜らざる前より國禁を犯して當半島へ移住し今日の如き併合の素因を作つたのであります云々

次で視察團を代表し禰井代議士一場の答辭を述べ主客歡談互に意見を交換し散會したるは午後八時なりし尚當夜の出席者は視察團員の外木内農商工部長官、大庭京城府尹、市原韓銀總裁、宇佐川東拓總裁、吉原副總裁各會社銀行重役、民團議員、日鮮兩商業會議所議員其他官民重なる者合せて百五十餘名なりし

▲宇佐川總裁招宴　宇佐川總裁は廿二日午後六時より花月樓に篤農家視察團一行の外山縣政務總監倉富、荒井、木内、有吉、宇佐美の各部長官俵副總裁池田、大屋の兩局長、官明石總長菊池局長鈴木司務局長本田博士古城民長和田議長中村副會頭其の他會社側よりは副總裁理事秘書役等八十餘名を招待し晩餐會を開く

▲一行の出發　廿三日零時二十分龍山を經て開城及平壤に向ひ同地方視察の上廿五日夜入京廿六日朝歸途に就く筈なり

▲意見の聽取　一行は二十三日朝八時東拓會社に參集し宇佐川總裁の談話に就て會社は一行に對し同社經營及移民等に對する意見を聽取する筈也と

▲篤農家視察談　今回渡來しれる全國農業視察團の一行が南朝鮮地方を調査したる結果如何なる感想を抱くやは頗る興味ある問題なるが今一行の談片を綜合するに大同小異の意見に歸着し朝鮮の地味氣候が農事に適し將來有望なることは等しく認むる所なるも唯現在の狀態を視察せるのみにては纏りたる計劃を立る能はずと云ふにあり然して一行の最も意外に感じたるは彼の何々農場と稱するものゝ凡てが單に變則の大地主たるに過ぎざる有樣にて農場の名を冠すれども自ら經營さるに非ず小作米を取立る以外何等農民に對して指導する所あらず斯の如くにして將來の發達を期待するは到底不可能と云はざる可らず朝鮮に於ける農事經營之等大農よりは寧ろ千二千の小資本を以て渡來し自ら耕耘に從事せる人々に依りて眞面目に紹介せられ又改良されつゝあるなり尚は一行の參考として諸農業家の誤りたる失敗の經驗は一行の如き智識と經驗に富みたる者にとりては充分了解され居る事にして畢竟内地に於ける無經驗者が俄に農業に從事したる結果に外ならず村井農場の如き五十萬の資を投じ失敗の跡歷々として將來挽回する餘地を見出さずと云ふ

▲昌德宮の午餐會　既報の如く二十二日午後零時半より昌德宮仁政殿に於て篤農家視察團一行の爲めに午餐會を開かせられ團員四十人の外宇佐川東拓總裁、吉原、閔の兩副總裁、林、井上の兩理事、嶺、松田の秘書役等にして李王殿下には微恙の爲め引見を中止され主人側として閔前宮内府大臣、小宮次官、李從侍從院副卿、蛯川、青山、權藤の各理事、高義式課長、金秘書官等出席せり

天長節の祝賀會

來る天長節には府尹、民長、韓銀、東拓兩總裁其他重なる會社銀行支配人の發起にて倭城臺に於て午前十一時より日鮮人の盛大なる祝賀會を催すことに決定したり因に會費金一圓を持つて發起者へ申込めば何人にても出席し得と

貴族觀光團の旅程

朝鮮貴族觀光團は愈々二十三日及二十四日の兩日當地出發東上の途に就く事に決定せり今一行の旅程を聞くに如左

▲婦人部　十月二十三日午前九時南大門發同日午後六時三十分釜山着同地一泊▲二十四日午前十時五十分連絡船にて出發午後十時三十分下の關着同地一泊男子來着を待つ

▲男子部　十月二十四日午前九時南大門發午後六時三十分釜山着同八時連絡船にて出發▲十月二十五日午前七時半下關着先着の貴婦人團と合併午前十時出發午後五時四十分宮島驛下車同地一泊▲二十六日午後五時四十三分宮島驛發汽車中一泊▲二十七日午前八時十三分京都着▲二十八日京都滯在見物▲二十九日午後一時京都出發同日午後四時名古屋着同地一泊▲三十日午前七時半名古屋發午後五時四十五分新橋停車場到着

▲廿三日出發者　伯爵李址鎔夫人、同李完用夫人、李完用伯長子李恒九夫人、勳一等李俊鎔夫人、子爵趙重應母堂、子爵趙民熙夫人、男爵李載克夫人、故徐正淳令孃、子爵趙重應、侍從殘務取扱李完用伯長子李恒九、昌德宮女官尹明雲、同張成遠、同金允俊、德壽宮女官嚴淸一、同李彰善、同韓德順、通譯前主事柳益秀、同亘喜均、從者前宮内府司院金鎭石、同崔鎭植外女從者四八

▲廿四日出發者　侯爵李海昇、伯爵李址鎔、勳一等李俊鎔、伯爵閔泳璘、子爵元内部大臣朴齊純、子爵元學部大臣李容植、子爵李琦鎔、男爵李載克、同金宗漢、同朴箕陽、贊議金榮漢、副贊議徐相勳、同許進、同高源植、從二品閔宗植、贊議劉泓鐘、同從者曾明善、同李護鐘、前宮内府禮式官李容汝

●天長節に付き通牒　昨廿一日宇佐美内務部長官は天長節祝賀に關し各道長官へ親展書にて通牒する所ありたり其要旨は來十一月三日は併合後始めての天長節に付き[illegible]は勿論各官衙學校組合等一般官民は夫々祝賀式を擧行し誠意を表すべく取計ふべきも併し其方法は浮華に流れず極めて嚴肅の態度にて祝賀すべしと云ふにあり

●觀光團一行御暇乞　廿三日より東上する貴族及び貴族夫人は各自昌德宮に伺候し李王殿下並に妃殿下に對し御暇乞申上げたるが兩殿下に於せられては今回の擧を非常に贊成あり充分内地の文化を觀察し來る樣懇篤なる御言葉ありたる由なり

●朝鮮物語集附俚諺　發行さる著者は東京帝國大學文科大學漢學科出身の文學士にして多年京城に在り高等學校學監の職に在り朝鮮語に通じ朝鮮の國情に熱せるの人なるが著者は物語は社會生活の精髓的縮圖なりとし之れに依て風俗習慣を一貫する所の精神を看取せんと欲するもの爲め此の書を成せるが如しされば荻野文學博士は『余は本書によりて歷史上より日韓古今の比較を爲すに便利を得たるを感謝す』と云ひ『日韓文野の異同を比較すべき材料に備へたらんには必ず幾多の發明あるべきを信ず』と云へり本書收むる處の物語は痴取以下二十八編と外に朝鮮俚諺五百四十七文章は流暢にして典雅實に好個の讀物なり

●土地調査期限短縮　朝鮮の土地調査事業は七年八箇月間に竣成の計畫を以て目下着々進捗中なるが今般更に此の期限を短縮して七箇年間に完成せしむることに決定した由にて此る期限内よりも更に一層速かに竣成せしむる希望ありと雖も一筆調査ならば人員さへ增加すれば其進行を速かならしむることを得るといへ雖大三角測量は對州より引いて釜山に基點を作りこれを全國に及ぼすものなれば實地事業としては十五里乃至二十里の巾となり其巾には又小三角を作ること故此の關係よりして七年以内に短縮する能はずと

●未納税取立嚴重　京城民團四十三年度第二期納税期は八月末日限りなりしも未納者頗る多く而して民團は何時變改せらるゝやも知れざるを以て特に會計事務を整理するの必要あるに依り今回は嚴重なる取立を爲す由にて目下督促令狀の調製中なりと云へり

合併後の產業振興策（九）

東洋拓殖會社總裁　宇佐川一正君談

併合後の產業振興策に就ては、既に貴紙に連載されたる諸氏の意見に依て細大共に悉されあるを以て、此の上私の意見として御話する餘地は無いやうだが、強てとあれば御答へせぬ譯にも行くまい、デ私の考へでは產業振興策として現下の朝鮮に於て最も切實なる急務は交通機關の完成と金融機關の普及とに在るを信ずる。蓋し農工業等各般の產業其れ自体の進步發達を計るには、各特殊の方法手段もあるべく、從て之れに對する議論も起るべし、併しイザ實行せんと云ふ時機に際しては能く周圍の事情を調査研究したる上、其の得失を明にし其結果如何を考へ初めて實行さるべきものなるを以て、各般の產業を特立せしめたる抽象的狀態に於て、產業振興の方策を說くは或は容易ならんも、或る事業に於ては今日の是を以て明日の非となすもの無きを保せざることもあらん、例へば交通機關の設備完成されたりと假定せば、其地方の產業狀態は急に變革を生じ周圍の事情が一變するを以て、之れに應ずべき振作方法を講ずるを最も適切なりと思ふ、故に今之れを概括して論ずることはどうかと思はる、即ち切角の意見も事實に於て周圍の關係に適合せざることゝ成り、其結果抽象的議論に陷りて了ふ虞れがある、依て產業其れ自体の振興を圖るには時機と場合を考へ此の所と產業の種類とに依て其得失を計較するの必要あるを以て、各個の產業に就き振興の一般方策を論ずることは他日に讓りたく思ふ、然るに產業全般に取り現在及將來に於て必要なるは交通金融兩機關の利用方を十分に會得せしめ、十分に利用せしむるを現下の最大急務と信ず、要之今は朝鮮に於ける產業上の總論時代であつて交通並に金融機關の普及及其利用とせしむるが如きは總論時代に遂行さるべきことで、各般の產業其れ自體の發達進步を計るが如きは各論時代に入らんとする時に方り始めて立策すべきものと思ふ、否らざれば切角の意見も實行し能はざる虞れあるは前述の通りだ、尤も既に總論の時代を荒增し了へて、各論の時代に入らんとする地方もあれども部分的であるを以て、近々御話をする時機もあらん、今は唯大局に就て話したのです

小松侯爵の歸艦

第一艦隊旗艦薩摩搭乘の海軍少尉候補生小松輝久侯には二十一日午前九時八分南大門着列車にて入京し市中の觀光を了へたる後午餐を召され午後は昌德宮秘苑及び美術品製作所等を巡覽し其歸途漢城美術製作工場に立寄られしが退場の際重役の金時鉉氏は其製作にかゝる銀杯二個を贈呈せしに頗る喜ばれ斯て午後六時十八分發列車にて歸艦されたり

監獄改良の實施

（某當局者の談）

朝鮮に於ける監獄制度は一昨年來改善を加へつゝありしが當時は各道を通じて八ヶ所の監獄署ありしのみにして囚徒の收容狀態等不完全なりしも昨年一二の兩年間に於て仁川、釜山、鎭南等其他樞要の地に十三の分監を新置し由來囚徒を收容しある日本内地のそれに比較せば其の收容し居る囚徒は優に二倍乃至三倍の多きを見る今其主なる京城平壤大邱等に於ける監獄及び囚徒收容の狀況を聞くに京城は各監獄に比し稍や完備せるものにして鐘路西大門獨立門外等に收容しある既決未決の囚徒九月末日現在千九百六十九名にして優に二千人以上の囚徒を收容し得べし大邱監獄は最近の新築に係るものにして京城に次ぎ完備せり同署九月末日收容し在りし既決未決の囚徒七百七十一人にして一千人の囚徒は收容し得べし亦た平壤監獄は元同地理事廳の使用せるものと從來同地監獄にて使用しありたるものとを其の儘使用し來れるも兎角狹隘不完備にして京城及大邱に比較せば大体に於て遙かに劣等なるものなるより當局も之れが新築の必要を認め此程新築工事に着手せり同署九月末日現在囚徒收容數六百三十七人の多きを以て狹隘の聲高し以上は朝鮮に於ける監獄署中の主要なるものにして當局も監獄改良の第一着手として經費の許す限り新築修繕を加へ三大監獄と爲し漸次分監其他を新築改築を加ふる希望なりと某當局者は語れり

●大庭大每特派員　本年三月南米アルヘンチナ共和國獨立百年祭へ參列の爲め特派されたる帝國軍艦生駒に便乗し外遊の途に上られたる大每特派員大庭景秋氏は南阿南米の視察を了へたる後ち英國に航し續て大陸諸國を漫遊し波斯トルコ及び中央亞細亞諸邦を漫遊し露國に出でペトルスボルクに滯在の後シベリヤ線に因り廿一日夜當地へ着されたり氏の談話によれば日露協約の効驗著しく此頃露人の邦人を優待すること非常なるものなりと、因に氏は廿三日夜南大門發内地へ向はるべし

●三浦夫人の出發　元京城理事官三浦彌五郎氏夫人きよ子女史は二十三日朝南大門驛發の急行にて馬山へ引揚げらるゝ由なり、因に三浦彌五郎氏は來る十一月十日頃新任地スヰデン國へ赴かるゝ途中當地へ立寄らるべしとの噂なり

●電信事務の開始　慶尙南道蔚山郡東面方魚津郵便所平安北道義州府威化面北下洞郵便所は來十一月一日より電信事務を開始する旨告示さる

●梅香ケ丸の廢止　關釜連絡船梅ケ香丸は使用上不經濟の點多きを以て本月限りにて廢止し他の適當なる汽船を使用することに決定したりといふ

●日出小學生遠足　廿二日午前九時南大門發列車にて日の出小學校生徒八十二名は遠足の爲め成歡へ向け出發

●武田少將の出發　平壤鑛業所長武田海軍機關少將は二十二日午前九時南大門發列車にて德山へ向け出發す

●本田府尹の出發　前學部書記官より鎭南浦府尹に榮轉せる本田常吉氏は二十二日午前九時十分南大門驛發列車にて赴任せり見送り頗る盛んなりき

公人私人

▲鄉津友彌（咸興地方裁判所檢事正）二十一日入京天眞樓へ投宿
▲中川元次郎（砲兵中佐）廿一日龍山行
▲服部末次郎（憲兵少佐）同公州行
▲上林敬次郎（專賣局長）同開城行
▲鈴木外次郎（農商工部技師）同釜山行

▲京城手形交換高▼

十月	金高	枚數
廿三日	一四六、九九二、五四	二六二

▲仁川米豆取引所▼

▲前場（廿二日）十二月一節八圓九十錢八十九錢九十錢一錢二錢九十一錢二錢三錢四錢四錢▲二節九十一錢九十錢八十九錢八十八錢七錢七錢八錢▲三節九十錢八十九錢八十八錢七錢六錢五錢三錢二錢一錢九十錢八十九錢九十錢一錢出來高八千四百五十石

▲大阪期米電報▼

▲前場（廿二日）十月限寄十四圓八十五錢▲十一月限寄九十二錢十二月限寄十五圓三錢

▲仁川港の出入船舶▼

▲日高丸　廿三日芝罘より入港
▲鶴朝丸　同大坂より入港
▲鶴朝丸　廿三日午後四時群山門司神戶を經て大坂へ出港

▲京龍兩驛の貨客▼

△南大門驛乘降客　廿一日の分如左
乘車客　一二四三　下車客　一一二
二　乘車賃金　二三五二、九〇、

△南大門貨物扱高　廿一日の分如左
發送　五六噸　到着　三八五噸
送賃金　七〇九、一九

△龍山驛の乘車客　廿一日の分如左
乘車客　二三三　下車客　二四三、
乘車賃金　三六六、八八

△龍山驛荷物扱高　廿一日の分如左
發送　一八噸　到着　一一噸　發送賃金　九二、一一

▲治外法權▼

廿一日夜京城ホテルであつた東拓關係の篤農團歡迎會は大分盛會であつた、何しろ客は内地各縣での選拔き、主人側は當地日鮮官民の選拔き、よりぬきトよりぬきとの間に有益なる意見の交換があつた▲序に言ふが普通一般の意味に於ける歡迎會は大抵は無意義なものだ、酒肴が出る、藝者が出る、形式的の挨拶がある、答辭がある、ソレで、何の印象も止めずして散會になる▲トコロが今度の歡迎會は餘程別であつた、因つて思ふ名は歡迎會であつたが其實は意見の交換會であつた、當夜古城民長の歡迎演說は振つたものであつた、曰く吾人移住民は帝國國旗が未だ半島に飜らざる前より國禁を犯して斯土に移住し、今日の素因を作つて居りますぞと、國禁を犯しての一句光焰万丈と言つべしだ▲往來各官署に別々の會計があつて金錢の支拂をしたのは極めて舊式で、之には言ふべからざる弊害があつた、今度金錢支拂の會計が一ケ所になつた爲めで收賄沙汰はモーあるまい▲本紙は此間中も京城監獄の獄舍の狹隘と不潔とを攻擊して其改良を促した、トコロが常に新聞記事などに頓着せぬ役人達も此頃少しは眼が覺めたと見わて近々改良をヤルとの事だ、串戲ヂヤナイ、罪囚でもみんな陛下の臣民だよ▲近々開かるべき商業會議所聯合會へ仁川會議所から特種銀行設立の提案をするとの事だ、特種銀行とは不動產銀行の事か、然らば記者も贊成する。

論説

朝鮮同化と神道

▲偉大なる靈化　朝鮮併合となりたる以上は朝鮮政治は蟬脫的に舊朝鮮人をして帝國々民化せしむるを第一の要義とするは論を俟たざる所にして之を行ふに先づ教育の道を盡すは素より急務なれども彼の朝鮮人の如き屢々革命を經たる國民をして單に教育の力によりて帝國々民化せしめんとするは或は其目的を達し能はざる事なきを保すべからず教育の力によりて知識ある國民を得るは難事ならざれども知識以上世界無比の國魂を有する日本國民を朝鮮人中に產出せしめんには教育の外尚ほ更に偉大なる靈化を與ふべき神秘的威力を假らざるべからず

▲神秘的威力　とは何乎と云へば我國神祇の大道即ち神道にして畏くも一帝君臨億兆風を同くし數千年來連綿せる金甌無缺の國體を有する所以のものは一に神祇の大道上下の間に磅礴たるが爲めにして庶政凡百ありと雖も悉く淵源を玆に發せざるはなく國粹の精華たる日本魂も亦其偉力煥發したる光彩に外ならざる事なれば彼此を對照して帝國民と朝鮮人とは國本民本兩つながらに於て絕對的不一致のもの嚴存せり斯かる狀態の間今夫れ併合を見て將來永遠同胞、して同一國民たらんとするに於て如何にしてか能く此の不一致を渾和融合せしむべきかは抑々對朝政治の

▲大的幹根問題　にあらずと云ふを得んや政府殊に內務當局者は果して如何なる考を有するかは未だ聞くを得ざれども概して等閑に附しつゝあるにあらざる乎從來の遣り口を見るに先きには北海道臺灣近くは樺太にも國土經營の神即ち拓殖神社を建造したる事あるも何れも其所管は拓殖の方面に總辨し僅かに祭祀の典式に關する事柄を以て內務當局者は之れに與りなりと聞けり拓殖方面の人々が斯く新版圖に對して神社を建造する本意は云ふ迄もなく帝國の神國たるに鑑み神道の偉大なる靈化を敷かんが爲めにありとすれば臺灣樺太に比して數倍の國情を異にせる朝鮮の同化に就て

▲神道扶殖の大喫緊事　たるを認めざるの理あるべからず既に之を認むるとすれば之は拓殖方面一部の問題にあらずして實は堂々たる國是の樞機に屬する問題なるに政府として未だ何等の方針を有せざるが如きは甚だ解し難き所なり樺太臺灣の如きは一は北門連鎖の邊北一は蔚爾たる海洋の孤島たるに過ぎざれども半島の朝鮮は境を大陸に接して國交の逆境を招くこ削除深謀なくて叶はざる所にして之を化して同一國民たらしむるにあらずんば併合は遂に千歳の禍源たらんも知るべからずとせば朝鮮人同化の問題と神道との關係は愈々以て重大視せざるべからず苟くも風を改め俗を換へ以て志を移すに至らざれば同化の實ありと云ふを得ざれば遐般の妙機は果して之を何に由りて求めん唯だ我深遠廣大なる神道の扶殖あるのみ敢て政府者の顧慮を望むと某貴族院議員は語れり

世帶道具は何でも有り升

外に宅ノ酩酒、手ヨリ白米、和洋ローソク
上白シメ油、㊕醬油ハ特約品

右品質上等直段下等大勉強販賣仕候間續々御用命奉願上候

日用雜貨卸問屋 京城本町六丁目 西崎嘉七本店
電話二百十番 電署(ニカ)又ニ
振替貯金口座韓國七番

醫學士木村先生方劑

健胃整腸散

定價 十錢 廿錢

○腹痛、下痢、腸加答兒、赤痢(下り腹一切)の最良藥

發賣本舖 京城明治町三丁目(電話四二七) 小川藥店

▲本品は市内各藥店にあり最寄にて御買求を乞ふ▼

米國スタンダード製松印石油
下總國野田㊙印醬油
仁川日本醬油株式會社製㊙印醬油
下總國万上印味淋壜詰
尾張名古屋㊙印酢
汗浦根炭及日本木炭
英米煙草會社製品各種
神戸株式會社布引礦泉所製馬蹄印
豐後湯の花精製品(入浴用)
湯の花菓子(茶用)瓶入各種

特約店

雜貨部 京城本町六丁目 ㊇藤富國太郎本店
貿易部 京城南大門市場 藤富國出張所
木炭部 京城永樂町二丁目 藤富國出張所
電話三〇八番 電署(ク)

其他和洋酒、米、麥、石炭、みかん、洋臘、瓦煉瓦、明太魚、鰊昆布、籐青莚、味噌、罐詰、干香、其他乾物類一式

入院隨意

院長 醫學士 由利弘
副院長 醫學得業士 長尾乙二

仁川病院

慈惠會醫學士 尾上早見
東京醫科大學 撰科專攻 菊池徹
藥劑士 常盤光雄

電話十六番

弊館には夜警の設備あり

陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水産組合指定旅館
各保險會社指定旅館

鐵道の好き事 仁川第一なり

御客樣の安全此の上なし

仁川海岸 旭屋旅館 電話二五一

東京足袋

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

本店東京 京城大和町一丁目(日の出橋際) 大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

法律事務所開設

今般左記の所に荘子辯護士出張事務所開設致し候に付き一般法律事務を懇篤に取扱へ仕候

辯護士 仁川仲町二丁目五番地 荘子斌事務所
主任 本内下代吉

朝鮮牛種及牛乳改良元祖

消毒 純良 高等 牛乳

京城南大門外 荒井牧場 (電話一〇五六番)

龍山本町三丁目 龍山販賣所 (電話二〇二番)

當場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり

當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし

當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候

當場には御進物用牛乳切手發賣致候

其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候

横濱火災 海上 運送 信用 保險株式會社

資本金五百萬圓 積立金百七十二萬圓

京城事務所 南大門通三、共益社内 電六九四

紙と印刷

諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本

諸官衙御用

京城本町六丁目 播本(ハリモト)商店 電話百拾番

財産の安全を欲せば直に堅牢なる東京竹内製金庫を備付られよ

東京竹内製金庫特約店 京城本町一丁目 熊平支店

定價表

御入用の方には無代進呈仕候

龍山新市街山下町一丁目(兵器支廠官舍入口) 馬木勇吉本店 電話三六四番

暖爐各種 並に 附屬品 煙突取附

多數御注文の節は特別勉強可致候

京城本町五丁目一番戶(商業會議所へ曲ル角) 馬木勇吉支店 電話四七一番

酒精アルコール

新荷着 仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電署サ) 坂倉支店

三製紙會社製造板紙特約店

洋紙各種

紙函封筒諸袋類製造販賣

京城長谷川町三丁目 鼎商會 電話九百十八番

家傳快樂圓 不思議の靈藥 梅毒專門藥

●疳瘡●便毒●骨痛●揚梅藥●婦人ののぼりこしけ●小兒の乳越し等ひゑばい毒●諸病には其效能の著るしき事他に比類なく病の根を切絶して再び起る事なし我累代の家傳法妙藥にして實に不思議の藥なり㊤諸君よ御服用ありてその效能を知り玉ふべし

如何なる重症も十日分以上服用する必要なし
定價 五日分 金二圓五十錢 七日分 金三圓也 十日分 金四圓也
▲御服用の上効能無之場合は代金返戻可致候

廣島縣安藝郡中野村 後藤松太郎

調劑發賣元

●京城旭町三丁目やぐら壽司方にて販賣致候

京城發賣元 山川留藏 電話一四一九番

和洋古物各種

新案 九たびまた

堅牢で廉價 山字の識

京城本町一丁目 ㊈ 栗原商店 電話四八三番

㊈ 出張店 京城本町五丁目(兵器支廠入口角)

印章彫刻 ゴム印彫刻

京城本町四丁目 赤帽子號印舖

諸官衙御用達 奥野岩太郎 電話九三番

統監府及諸官衙御用

荷物運搬 引越荷物受負

伊藤組

本町三 南大門驛 大和町 同第二

電話四〇番 電話七三二番 電話九四八番 電話一六〇八番

諸官衙御用

營業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐アシン 穀物食鹽 諸染料類

委託販賣

東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)

出張所 東京京橋南鍋町一丁目十番地 電話新橋三六九二

(可認物便郵種三第)　明治四十三年十月二十三日　京城新報　(日曜日)　第五百四十號　(三)

▲載仁殿下の出迎　艦前

殿下は愈々明二十三日午前九時横濱御入港に付き瓜生橫須賀鎭守府司令長官は小泉警備艦隊司令官をして今二十二日午後筑波、高千穂の二艦を引率せしめ御出迎の爲め觀音崎に差遣したり（同上）

明年度の豫算確定　明治

四十四年度豫算は昨日の閣議にて大体確定せり總額五億三千万圓にして新要求の主なるものは海軍補充費の擴張及び朝鮮の新經營等なり（同上）

鐵道建設の方針

朝鮮鐵道が總督府の所管に移りたる後の建設方針を聞くに建設改良工事費は前帝國議會に於て決定したる範圍を［illegible］する能はずと雖も京元線は特種の事情あるを以て幹線と同樣に敷設するも湖南線は輕便式を採用することになりたるを以て其建設費も一哩八萬圓乃至十［illegible］

▲大阪期米電報▼

▲前場（廿二日）十月限止十四圓八十［illegible］　二錢▲十一月限止不曾▲十二月限止十五圓八錢▲後場（二十二日）十月限寄十四圓七十八錢止廿八錢▲十一月限寄十四［illegible］十五圓八錢止八錢

▲仁川米豆取引所▼

▲後場（廿二日）十二月一節八圓九十二錢三錢二錢一錢▲二節九圓八號九錢八錢七錢六錢五錢三錢四錢三錢▲三錢二錢三錢一錢二錢▲出來高五千二百五十石

大々的に祝賀すべし

▽併合後第一の天長節

來る十一月三日は我等が聖天子の御誕辰なり併合後第一の天長節で我等は新附の民も共に此の聖節を大々的に祝賀し奉るべき計畫があることは本日の第二面に掲載せられたる通りである更に聞く所に依れば一般市民は如何にして此の盛儀を飾るべきかに就いて頭を痛めた結果が或る者は踊屋臺を出し或る者は花山車を出し或る者は假裝行列をなし或る所には造り物生花等を飾り立て、聖壽の無疆を壽ぎ日月と共に及ばぬ限なき御稜威の畏さを仰ぎ奉る計畫ありと云ふ

天皇陛下の赤子として内地人と共に其の慈雨に均霑すべき新附の民も共に此の聖節を大々的に祝賀し奉るべき

北漢山探勝　將校團の

▽往路は必ず徒歩の事

軍司令部に於て先頭紅葉狩の爲めに北漢山登りを催ふす筈なりしが都合により延期したるが愈々二十三日に決定したり其順序としては當日午前十時に平壌街道上齋把撥里巡査駐在所附近に集合し其所よりヨキヨンを經て北漢山に至る而して必ず徒歩のこと午後〇時重興寺附近に行厨を開らき午後三時山中にて解散し歸路は隨意にて道を三に分かち一つは遼低里を經て北門に至る其間の名所石坡亭、洗劍亭、彰義門二は加五里、美仙里を經て惠化門に至る三は松加亭里敦岩里を經て惠化門に至る此の三道とす山上の名所は重興寺行宮普賢峯等ありと雨天なれば來週日曜に順延さるべしと

十一時頃何處で飲んだか泥醉し西小門通り料理店永見亭に行き酌婦の控へ室に上り込み素見し暴言を吐くより歸れと促したるに喧嘩を吹き掛け亂暴を働きしも主人不在に付鬪家の賣定庵の帳場來りて制止せんとせしにイザ來れと格鬪を初めし際に警官出張鎭撫し住所氏名を問へば大日本國民なり用事あらば拘引狀持ち來れ僕は福井縣福井市春日町二十三番地元本元丸（三八）なりと警官に暴言を吐き西部署に引致一夜留置の上二十二日取調の結果泥醉の結果斯く不都合に及びし事判明し説諭放免

寢て食事して盜む

▽留守宅に寢て食事して盜む

本町九丁目二十番戸柿田よし（三五）と云ふは岡山縣生れなるが十八歲の時家出して東京大坂橫濱滿洲朝鮮の各地に於て酌婦仲居に從事し居たるものなるが本月十日頃迄本町六丁目料理屋瓢島屋の仲居に從事中本町九丁目山本某と云ふ者と以前より何か深い關係ありしと見へ山本所有の家屋即ちよしが現在居所に引越さしめ一緖になるが然るにれよしは別に大和町某官署に出勤せる洋刀さんにも親類筋ありて去る二十日夜よしは南山町の或る一摩の家に酒を飲みに行き翌二十一日歸宅せしに不思議なる盜難ありしとて其筋に屆出に付某刑事臨檢したるによしが戯て起床の寢室に何者か寢たる跡ありて床さ其の傍にて猶は食事を爲したる形跡あり盜難品は行李在中の御召給一枚外二點にて在中品の下等物なるが如何にも滑稽なる盜害なれば情夫はなきやと問ひしにわりませんと答へたるが實は親類筋の惡戯なるべしと

勳記の手前謹愼せよ

▽勞働者故一度丈け匿名

富山縣富岡市森山町富崎吉野町居住〇〇印刷所職工某（三九）は勳八等功七級の勳章を有する者なるが二十一日午後十時五十分釜山發急行列車沃川太田間

●記事一部の訂正　十五日の紙上に『韓人理恩に感泣す』と題したる記事中訴訟代言人金澤義吉が實兄石世煥なるものより金錢を騙取せんと企てたる石東煥なるものヽ事件に座して安東縣へ出張中家宅搜索を受けたるやに記載せしも右は其の情を知らずして事件の依賴に應じたるものにて且つ其の筋の請求に依り任意一件書類を提供したれば從つて家宅搜索を受けしものに非ざる事情精探の結果判明せしに付此の部分を訂正す

●トーフーの亂暴　廿一日午前一時頃仁川花開洞蝸甫屋崔某方に一人の醉漢入り來り蝸甫の挨拶が氣に入らぬとて傍に有り合せたる棍棒を取り門戸を打破らんとするを以て訴へ出たるにより警官出張本人を引致の上取調べたるに此の奴は福岡縣嘉穗郡内野村當時は仲町二丁目武藏屋と云ふ豆腐屋の傭子を爲し居る大庭梅次郎（二七）と云ふ者にて同日日本町海岸通りにて燒酎を多量に飲み泥醉し結果前記の次第を判明したるを以て懇々說論を加へ放還

●子牛の汽車往生　廿二日午前

●行旅病者の死亡　山口縣大島郡神浦村林次郎三男船乘業脇爲助は廿日午後八時仁川仲町二丁目一番地の空家にて腦室扶斯に罹りたるも一錢の所持金なきを以て行旅病者として收容したるが廿一日午前十一時四十五分死亡

●前副理事官就縛　前濟州島理事官にして其後判事に轉じ濟州區裁判所に在勤せし延原謙は過日退職せしが副理事官在職中收賄の事實發覺し數日前逮捕せられたりと

●汽車人を轢殺す　廿一日午前九時南大門發急行列車三浪津院洞間釜山起點廿五哩十八鎖の所を運轉中朝鮮人一名五十歲位の男轢死し現場に一分間停車したりと云ふが原因は相變らず不明なるらし

釜山起點百六十九哩三十五鎖の附近を進行中突然線路の右側より一頭の犢驅け來り轢死せり取除けの爲めに現場に三分間停車したりと然るにても何に依りて此の世を放果なみたるものにや

●仁川雜事　仁川寺町一丁目富川登郎長女ます子（九）は廿一日午後一時頃自宅前にて遊戯中煙草入一個拾得届出▲廿一日敷島の遊客は五十五人にて散財金百六十一圓九十一錢

●火事　昨夜九時西部樂觀萬里洞朴元明方温突より發火一棟燒失直に鎭火損害五十圓餘なりと云ふ

菊のいろく（三）

▲酒見金華園

菊を語るのに西大門外金華山殖林場金華園を見ないものがあるものかと云はれたので早速飛び出す、西大門外から獨立門の方へ二丁餘の所を左に取つてダラ〳〵阪を上ると右側の其所が夫れだと云ひ聞かされた通り成程其所が夫れであつた直ちに刺を通じて園主酒見理平君に面會を求めた、酒見君の案内に依り花園に行く

五百餘種の菊花は秋晴の園内に紅黄紫白の玉を綴つて居る未だ時期が少々早い見頃は何うしても天長節頃であらう幾多の種類中**鳳凰の頂**と云ふのが同園中の大王としてある此の菊は滿開したる花輪に又花が咲くくるいと稱するのにも幾種もあるが此の花は一應滿開して

藝ヶ爲るそうである川の柱と云ふは圓くなつたりして**一季數回**

夕空

Mi

年に出來ましたのを**故伊藤統監**の漢文顧問であつた矢土錦山先生に見て貰つた所が非常に高評に與つたから先生を介して伊藤統監閣下に**獻上**致しました當時獻上しましたのが時の韓帝は勿論諸大臣閣下よりもた買上げを頂きました明治四十年度の如きは統監府大官連より競爭的に買つて貰ひました夫れより生活の資として一層熱心に從事し只今では五百有餘の種類で**四千餘株**の鉢を栽培して居ります京城では花壇の元祖を以て自任して居ります本年中の大王とし大切に栽培して居ましたる大鉢三十餘鉢を本年五月十一日に盜難に罹りまして一僅にしたのを眼を閉づて惜に殘念で耐りません併し種類が不殘無く當園に限り居る夕空、國光、吉［illegible］

金華園の**由來**も聞いた、私が當地で菊を作り初めましたのは明治三十八年度で當時新町遊廓の京城樓上に菊花を陳列して一般の高覽を願ひましたのが新町の各樓主をして菊に趣味を持たしめた抑もでありますれから尙は熱心に培養方法を研究するに至りました三十九

西大門外　金華園栽培

のが藝か上手だそうな其他一文字、狂友鶴等ですから眞正の犯人でなくとも贓物故買犯人位は採査の届かぬとも限りますまい御尋の

調土の方法は藁と畦と五分にして普通畑の土に人糞を混じ前年の秋より腐敗せしめ翌年春目をろしにて篩ひ鉢に入れます栽培方法としては毎年四月上旬後より根分けを致します差異は其の性質に因り多少差異がありますが六月頃迄に終ります又肥料の給與が仲々困難で多量にやれば莖及葉にのみ効を及し花輪は小さくて見られたものではありません

肥料ですか他人は大抵馬糞とか油粕とか小水等を用ゆるそうですが私は人糞を毎年一ケ年以上樽に入れて貯藏し置き翌年之れを二回用ひ後は油粕を用ひます油粕も程よく腐敗せしめねといけません云々

日曜集會（廿三日）

●日本基督教會（旭町四丁目）午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教右終りて午後八時より傳道說教

●メソヂスト敎會（旭町二丁目）午前九時より日曜學校及び聖書研究等あり午前十時半より禮拜說教右終りて午後七時半よりは傳道說教

●同上龍山講義所　新市街電車止井出商店隣りにて午後七時半より傳道說教

●京城基督敎會（日の出町）午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教　題未定　米澤牧師　右終りて午後八時よりは傳道說教　題　基督教の人世觀　同上

日ご耳（廿三日分）

▲歌舞伎座　黑法師作『想夫憐』

▲浪花舘　若遊三一座の代番組如左　地獄旅行、入五郎坊主、ヘッツイ盜人、御題目、豐竹家、音曲、喜劇、品川情死、音曲、ヴアイオリン、大切電氣應用所作事勢獅子

次に二十四日の代り藝題は左の如し　高宮川、穴泥坊、權助芝居、アカ角力、浮れ節、星の屋、家かへ盜人、喜劇、庭燒失、三府音曲、ヴアイオリン、大切電氣應用所作事勢獅子

▲壽座　成駒屋雁十郎一座の舊劇にして藝題は二十三日『成田山利生の深川』中『觀進帳』切『阿古屋琴責め』二十四日の代りは『一條大藏卿』中『忠臣藏本藏下屋敷』切『名作左り小刀』なりと

▲豆粒で結婚の占　伊太利の農民間には面白い迷信が行はれて居る、五月の耶蘇升天祭の晩年頃の女の子は三粒の豌豆を取つて一つは全體の外皮を剝き一つは半分丈剝き他の一つは其儘にしたのを眼を閉づて撰び出せてから一つ〳〵紙片に包んで枕の下に置いて翌朝目が覺めると共にドキ〳〵

▲平民文庫▼

▲元日韓書房に女中をして居た〇〇と云ふ女は今は〇町の〇〇さん所に居るが元は新義州で淫賣をして居た女だよ（番頭生）▲番頭生なる人の投書の如きを異實の不用口と云ふものだ新樣詮索が何になる考へても見玉へ君の云ふ如く淫賣をして居たのを事實とした所で現在昨の非を悟つて實直に勤めて居れば夫れで結構一旦の心得違ひから不都合な事をしたにしろ悔悟すれば異人間である其樣洗ひ立てをしたら折角異の道に入つたものを又しても邪路に逐ひ込むことになる社會は然うまでして罰者を責めるには當らぬのです解りましたか併し改悛を裝ふて惡事を働くものは折伏の要がある（係）▲年二十六にして軍人質中學三年修業程度市內の會社商店に雇はれたし同情の士此の逆境を救はれよ（新渡來者）▲朝鮮町夜間鬪店には絕對贊成します從つて泥峴街も晝間の如く否より一層賑はひます一日も早く鮮人側の奮發を希望致します（一商人）▲十九日の夜太平町永樂亭前を通りますとポン〳〵と雨だれ拍子に三味線を掻き回して居たスルト男の聲でアーコリヤ〳〵と云つてました何が彼の調子でアーコリヤ〳〵も能く出來たものだ腹の立つ程可笑しかつた（通行人）▲火がなくて煙の出るパイプを賣つて居る人がある鮮人支那人が堵をなして之れを見てる賣る人は管の中を細い金で突ついては効能を列べながらスー〳〵鼻と口から煙を出して居る其の格好が豚の蚊遣器を見た樣で可笑くて堪らん（秋天）▲可笑しかつたら御遠慮なく笑ひなさいアハヽ（小僧）▲總督府の〇〇課の〇中が云々の投書は沒とす（係）▲沒が多いことだ（小僧）▲小生も履歷書御送附の方に申上候別段通知仕らざる向は御年齡等に付先方の希望も有之候ひしまヽ撰に入らざりしものと御承知相成度御提示の履歷書は不日夫れ〳〵執送返申上ぐべく候（社）

▲天氣豫報（自廿二日午後六時至廿三日午後六時）

北西風晴

●移轉
小生儀今般左記の處へ轉居致し候條相變らず御用召の程願上候
明治町三丁目(小川藥店横)
三遊亭千朝
電話四二七番

朝鮮在住諸君に
敷物特別廣告
今回御便利を謀り大勉强仕り直接需用家に卸賣同様の荷造値段を以て販賣を開始す

安價を以て卸賣割引き
尤も暖氣を保つ疊上敷物は御照會次第直段表送る

冬緞通各種
冬季温突上敷に適當暖氣受く

浪花織四季共用品
本品は立横綿糸織捺染模樣一疊四百目にて輕便なり

其他南面織込模樣橋立織
四尺三寸中花模樣羅氈及び敷物類
◎大阪朝日及毎日新聞物價欄に弊店敷物直段表あり

大阪
心齋橋通博勞町
油團製造緞通商
岩崎本店
振替大阪六八二四番
電話南千七七二番

料理
京城旭町二丁目
公園下
松秀庵
電話一三九一番

支店開業御披露
今回左記の處に支店を開設し斯道に堪能なる板場を聘し精々勉强可仕候間本店同様御愛顧御引立の程伏而奉願上候

天ぷら 鰻丼
手打 蕎麥
新二御膳吏科合併蕎麥
御料理
其他御好に應じ調理多少に不拘仕出し仕候
京城南山町三丁目(電話五九八番)
天金本店
同 本町一丁目裏通民團前横町
天金支店
(電話一四八〇番)

大競爭正札より
一割引賣出
來る二十四日より十一月二日まで
京城本町二丁目
電話九一九番
富田靴店

最上醬油
釀造元
仁川港萬石町
高杉醬油釀造場
電話七六五番

新築移轉御披露
秋冷之候各位益々御清榮之段奉賀候 扨て當温泉儀各位ノ御引立に依り日増に繁榮に趣き候處從來の家屋にては手狹を感じ候に付長谷川町一丁目(韓國銀行)横に家屋新築中の處今般落成致し候間近日中に開業可仕候に付前同樣御愛顧之程希候
京城長谷川町一丁目(新築韓國銀行横)
鐵冷温泉

●發賣廣告
朝鮮總督府專賣局開城蔘政課御製造
糖蔘(人蔘砂糖漬)
高麗蔘の靈劑たるは既に確認せらるゝ所今般蔘政局にて精製せられたる糖蔘は是れを砂糖漬ことしたるものにて永遠腐敗變味等の恐もなく老幼一般の咀嚼に適する珍重なる滋養菓に有之殊に容包裝共に優美高尚にて御土産御見舞品には最も適當のものに御座候今回弊店許可を受け弘く發賣仕候間幸に御賜顧御用命の程奉願上候
發賣元
朝鮮京城本町三丁目
合名會社 明治屋京城支店
電話 貳壹貳番 壹七貳番
各地賣藥店並に雜貨店に有り最寄にて御求を乞ふ

廣告
今般左記に旅館開業親切ご叮嚀勉强ご廉價は不誇實行殊に下宿の御方樣には特別の御便利を相計り可申候間何卒御眷顧の程を奉希候
追て御一宿の御試泊を乞ふ
京城北米倉町四十番戸
日本旅館
敬白

開店廣告
最新流行繪葉書種々
今般左記の所に於て繪葉書店開始仕り特別廉價を以て販賣致候に付續々御用命仰付被下度奉願上候
尚ほ御好みに應じ寫眞撮影の上繪葉書ご致差上可申候
仁川宮町二丁目
虹松堂 福田曉
御用の御方は電話五〇九番に御懸を願升

東京駿河町
三越呉服店
京城府のさる奥樣の御話しに
「東京へ注文いたすのが最も便利であります。東京の三越呉服店へ向け、必要なるものを手紙にていつてやりますと、直に小包郵便にて送つて參ります。かういふ便利なる方法のあるを當地の人は未だ知らない樣ですから、よく敎へて上げて居ります」と仰せられました。誠に難有き仕合せに存じます。

地方御注文案内書
は御一報次第進呈仕候

三越で賣つて居りますものは
東京にて流行せる
呉服太物を始めとし洋服、時計、指輪、小間物、化粧品、洋傘、靴、鞄、履物、文房具、玩具、美術品などでありますから、御便利此上もありません。試みに一反でも二反でも御注文くだされ、如何に品がよく、如何に價が廉いかを御試し下さる樣御願ひ申し上げます。
東京駿河町
三越呉服店

食物に注意する
歐米人はリッチハ子を
唯一の甘味料として
常用するのは
「主成分が大体に最も必要な葡萄糖で美味永久變る事無く豐富な滋養分があるからです」
リッチハネ
●牛乳 に和し給はゞ好い香となり牛乳嫌ひの方でも喜んで召し上がれます
●パン に附ければ美味此上なく最も衛生に適す
●果物 を其儘で食るのは昔日の事で廿世紀家庭は必ずリッチハチを掛らる
●洋酒 燒酎に加へて飲道樂家の滿足を買ふ
●氷 アイスクリーム、炭酸水に混せば得も云はれぬ佳味となる
●綠茶 紅茶、コーヒに能く適ひ異に甘露の味となる
●燒肴 の掛け醤油に和して用ふると好い艶が出て肴が堅くならず
●醤油 ソース、酢杯に混せ用ふれば不思議に味を善くす
右の外用途は色々數へ限れません
●朝鮮定價(小瓶 四十錢 大瓶 六十五錢)(五ポンド罐入 二圓七十錢)
●實用新案 リッチハチ美術容器
Rich Honey
一個 定價一圓四十錢送料内地十二錢
本品は体裁優美取扱便利なれば一般家庭は勿論和洋料亭旅館杯に必須の品又進物として最も雅致あります
發賣元 大阪 藤澤樟腦本舖
朝鮮特約店
京城南大門通三丁目 新井藥房
同 本町一丁目 青木堂
同 本町二丁目 明治屋
同 本町三丁目 亀屋
同 本町五丁目 大上商店
仁川仲町三丁目 北島藥店
●到る處の食料品罐詰店和洋酒店貨藥店菓子店乾物店にあり

移轉廣告
弊店儀從來新町二丁目に於て御引立を蒙り居候處今般業務擴張の爲め左記の所に移轉仕り尚一層勉强可致候間倍舊御引立の程奉希上候
花あられ製造元
仁川港仲町三丁目(春武乾物店前)
開春軒支店
電話三百一番

米國新式機械製造
土管煉瓦壺
陶磁器卸小賣
官製煙草元賣捌所
土管煉瓦販賣元
京城本町二丁目
肥 陶榮商店
電話百拾參番
振替口座韓國三三

義齒全般
龍山大島町
加藤民重郎

乾燥牛乳
クリモラ
こなみるく
壹罐二百五入(四十五錢)
米原料使用特色
米國政府特許品(一九〇二年)
米國に於て純良の牛乳を眞空裝置にて乾燥したる粉末牛乳にして他物を混合せざる最も純良の粉末牛乳なることは大學敎授大澤博士の證明にて明なり
法は至極簡單なり用に望み自分の欲する丈け湯に溶かして用ゆるか又は其儘にて用ゆるも差障なし
コンデンスミルクの如く砂糖を混合せざるを以て胃腸を害するの恐れなく用に望み何時にても新鮮なる殺菌牛乳を作るを得る最も簡便のものなり
日本總代理店
横濱市瀧町二丁目
合資會社 友田商店
朝鮮代理店
京城本町(郵便局前)
調劑藥局 山岸天佑堂
(振替口座朝鮮二〇三番、電話三七二番)

義齒術全般
京城永樂町一丁目
永田正二
電話一〇三二番

牛馬犬猫入院
治療所
京城明治町三丁目(電話四二七番)
院長 獸醫 小川家畜醫院
小川鉱太郎